

《企業紹介》

同社は電力供給に必要な送電用電線、変電設備機器、検流計の生産及び販売を中核事業とする企業グループである。1995年に国営の電力送配電機器の生産会社として設立され、ベトナムの電力供給インフラの発展に貢献してきた。そのような経緯から送配電設備の製造、販売、設置を中心とした電力設備関連事業が主力事業となっている。このほか、2021年4月に買収したビグラセラ（VGC、ガラス土石系建設資材の大手メーカー）を軸とした建設資材事業、産業用不動産の開発事業や電力・上水道事業（再生可能エネルギーを中心とした電力販売と上水道設備の運営事業）も手掛けている。2024年7月に電力設備関連事業の中核子会社グレックス電気設備情（GEE）の株式を公開したほか、2026年2月には公益インフラ事業（不動産開発、水道供給など）を手掛ける子会社グレックス・インフラストラクチャー（GEL）の株式も公開している。

《2026年1-3月期業績》

2026年1-3月期の売上高は前年同期比35.4%増の10.7兆VND（ベトナムドン）だった。インフラ投資拡大に伴う電力設備や送電線の需要は堅調で、電力設備関連事業の売上高が同38.2%増の7.0兆VNDとなった。このほか、住宅投資の回復によって建設資材事業の売上高は同47.5%増の2.1兆VNDと伸びている。

粗利益率が同1.5%ポイント低下の18.7%となった。銅などの資材価格や原油石炭などの燃料価格の上昇などが影響したとみられ、電力設備事業で同1.4%ポイント低下の14.5%、建設資材事業で同0.9%ポイント低下の16.0%となっている。ただし、粗利益率の低下は増収効果で吸収できる範囲だったため、粗利益は同25.3%増の2.0兆VNDとなっている。

税前利益は同24.9%増の8,063億VNDだった。金融費用が負債の大幅な増加により同80.5%増の4,451億VNDとなったが、販売費が同18.5%増の3,140億VND、一般管理費が同11.1%増の4,724億VNDと、それぞれ前年同期比の増加が抑制的であったため、税前利益は粗利益とほぼ同等の増加ペースを確保した。純利益は同5.1%増の2,456億VNDだった。株式公開によって子会社の利益の外部株主帰属分が増加したことが影響した。

図表1 四半期業績の推移（単位 十億VND）

	2025年1-3月期		2025年4-6月期		2025年7-9月期		2025年10-12月期		2026年1-3月期	
		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)		前年同期比 (%)
売上高	7,916.4	18.9	10,130.6	22.8	9,841.1	13.0	11,642.4	14.9	10,721.7	35.4
粗利益	1,598.2	33.2	2,333.6	55.8	1,831.6	10.3	2,660.6	10.6	2,001.8	25.3
粗利益率(%、%ポイント)	20.2	2.2	23.0	4.9	18.6	-0.5	22.9	-0.9	18.7	-1.5
金融費用(マイナスは収入)	246.6	-2.5	-15.1	-	-329.3	-	608.2	282.9	445.1	80.5
販売費	264.9	14.8	374.4	18.4	384.3	25.8	404.7	-5.1	314.0	18.5
一般管理費	425.2	29.8	453.0	15.8	567.1	28.1	560.9	-4.4	472.4	11.1
税前利益	645.5	67.7	1,552.5	12.7	1,252.6	149.7	1,246.6	-7.2	806.3	24.9
純利益	233.7	115.3	665.4	-21.7	621.9	529.1	16.6	-97.1	245.6	5.1

出所 会社資料をもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260519

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。

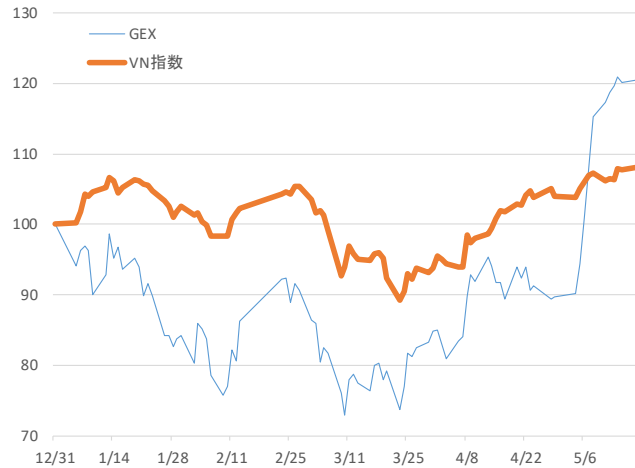
《株価の動向》

同社の株価とVN指数を2025年末の終値を100としてそれぞれを指数化したものが図表2である。年初からの同社の株価はVN指数をアンダーパフォームしていたが、5月以降の急激な上昇によって一気にアウトパフォームに転じている。5月18日終値時点でVN指数が2025年末比8%の上昇となっているのに対し、同社の株価は20%の上昇となっている。また、5月18日終値35,000VNDで計算した時価総額は45.7兆VNDで、これは2025年12月期実績の純利益1.4兆VNDの33倍の水準となっている。

株価急騰の理由は2026年1-3月期業績が堅調だったこと、株式分割と株式配当併せて発行済株式の45%の新株が発行されることによる流動性の大幅な増加が挙げられる。特に新株発行は、同社の浮動株調整後の時価総額を大きくする可能性があり、9月に実際のオペレーションがスタートするFTSEラッセルによる市場格上げの際に、同社株式が指数組入対象銘柄候補に浮上する期待が高まる。

また、4月29日に公表された同社の2026年12月期計画は、売上高が前期比13.2%増の44兆7,120億VND、税前利益が同22.0%減の3兆6,150億VNDとなっている。2026年1-3月期実績は増収増益で、進捗率も売上高が24%、税前利益が22%と順調だったことも支援材料になった可能性があるだろう。

図表2 株価推移



注 2026年5月の株式分割・株式配当考慮株式分割考慮後
出所 各種データをもとに当社作成

ニュース証券株式会社【関東財務局長(金商)第138号】

加入協会 日本証券業協会 一般社団法人日本投資顧問業協会
主な事業 金融商品取引業

有効期限作成日より180日

News20260519

本資料は情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。本資料は信頼できる情報源から作成したものです。その正確性を保証するものではありません。統計数値は過去の実績であり将来の成果を保証するものではありません。外国株式は、価格変動リスク、為替変動リスク、カントリーリスク、会計基準変更リスク、流動性リスク、取引相手先リスク(カウンターパーティーリスク)、機会損失、その他リスクがあります。ご投資をする際には、上記価格変動及び為替変動により投資元本を下回るおそれがありますので、約款・投資ガイド及び契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等を十分ご理解の上、投資家ご本人様の判断にて行ってください。